

教科	科目	単位数	学年	集団
体育	スポーツVI	1	1	スポーツ探究科

使用教科書	副教材等
なし	アクティブスポーツ（大修館書店）

科目の目標
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成する。</p>

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	体づくり運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに技能を身に付ける。
②思考・判断・表現	体づくり運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
③主体的に学習に取り組む態度	体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、協力、責任、参画、強制などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツに継続すると共にスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
評価方法	
①知識・技能	(実技、発表会、学習プリント・運動計画 等)
②思考・判断・表現	(振り返り等)
③主体的に学習に取り組む態度	(グループ活動の姿勢、安全性の確保、授業への取組状況 等)

学習計画						
月	項目	単元	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	体づくり運動	ラジオ体操	正確な動きを身につけることができる	○	○	○
			正確なリズムで体操ができるようになる	○	○	○
5		集団行動	正しい歩行を身につけることができる	○		○
			集団行動の基礎を習得することができる	○	○	○
6	集団行動	個の課題を見つけ解決することができるようになる		○	○	
7		集団の課題を見つけ解決することができる		○	○	

9	体づくり運動	集団行動	発表に向け集団の課題を解決できるようになる 仲間と協力し良い発表ができる	○	○	○
10	体づくり運動	新体力テスト	自己の体力を知り、体力の向上を図ることができる 正しい測定方法で行い、公正な態度を身につけることができる	○	○	○
11	体づくり運動	体ほぐしの運動	体ほぐし運動を理解し、ほぐし運動を実践できる	○	○	○
12			ストレッチ運動を理解し、実践することができる 自己の競技に適したストレッチを考え、実践することができる	○	○	○
1	体づくり運動	体力を高めるための運動	器具を用いないトレーニングを理解し、実践することができる	○	○	○
2			器具を用いないトレーニングを考えることができる		○	○
3			器具を用いたトレーニングを理解し、実践することができる トレーニング計画を立て、競技に活かすことができる	○	○	○